

# サーモシャワー混合栓

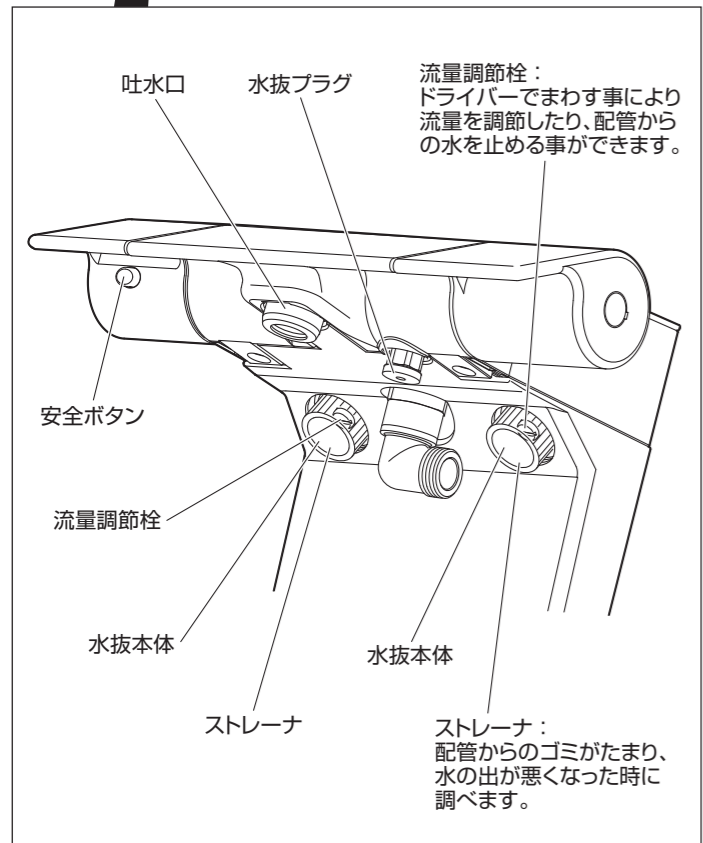
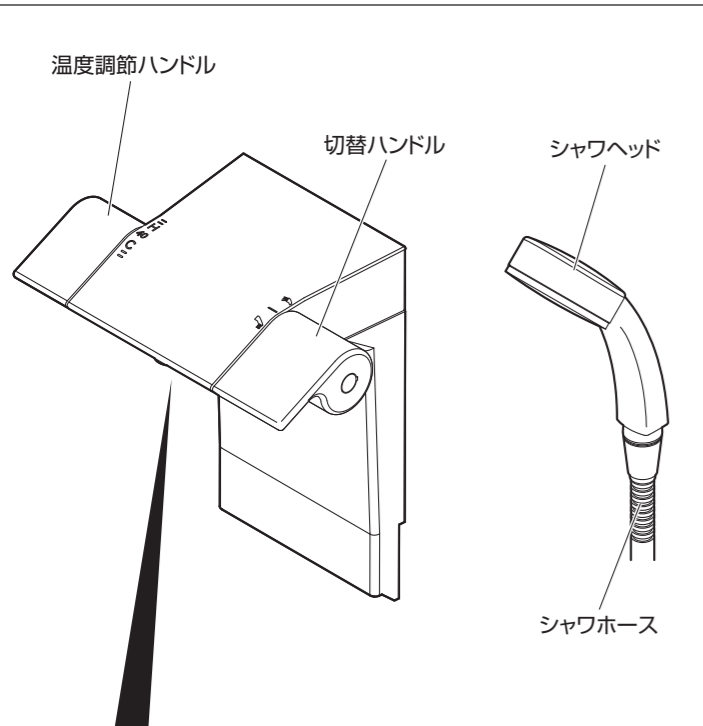
..... SB180-5U-TB・SB180-5U1-TB

## 施工説明書

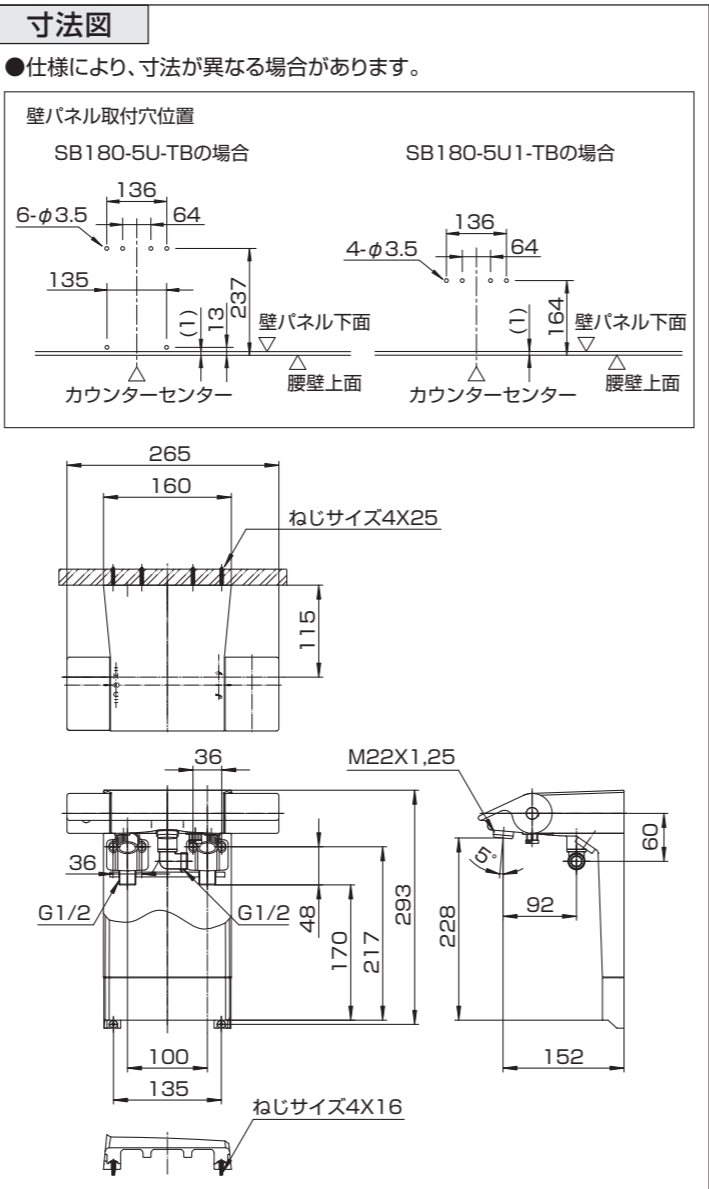
- 施工の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、この説明書をお客様へお渡しください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

### 本製品について 各部の名称・寸法図

本製品は、サーモスタットの働きで混合水の温度を一定に保つ混合栓です。



凍結のおそれがある場合に水抜部をまわして水栓内部の水を抜きます。



### 施工について 施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

#### 用語および記号の説明

- 警告** .....「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
- 注意** .....「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
- ⚠ .....「注意しなさい!」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)
- 🚫 .....「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)
- 🔧 .....「分解してはいけません!」
- 🚫 .....「指示した場所に触れてはいけません!」
- ⚠ .....「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

## ⚠ 注意

- 🚫 修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。

## ⚠ 注意

- ❗ ストレーナの掃除をする際は、いきなりストレーナを緩めずに、流量調整栓を閉めてから行ってください。湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 🚫 製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や水漏れの原因になります。
- 🚫 湯水を逆に配管しないでください。正常に作動しないため、やけどをする事があります。
- 🚫 給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。85℃より高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 🚫 同梱の部品以外は使用しないでください。故障や水漏れの原因になります。
- ❗ 目盛り通りの湯が出るよう、必ず温度調節を行ってください。使用条件によっては目盛り通りの湯が出ず、やけどをすることがあります。
- ❗ 凍結が予想される場所でご使用になる場合は「水抜方法」を参照の上、凍結予防を確実に実施してください。部品が破損し、水漏れて家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 🚫 水抜部は水抜き以外の目的で開けないでください。水抜部をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

### 施工について 適切な使用条件

(水圧について)

給水・給湯圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
		0.05MPa

- 給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2~0.3MPa程度に減圧してください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯圧力は必ず0.05MPa以上にしてください。

(給湯機について)

使用最高温度	85℃以下
--------	-------

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 給湯温度は、使用する温度より10℃以上高く設定してください。設定温度が低いとサーモ機能が正常に作動しないおそれがあります。
- 誤操作などによるやけど防止のため、50~60℃給湯をおすすめします。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- シャワーを使う際には、条件に適したガス瞬間式給湯機の号数(能力)が必要です。四季を通じて快適なシャワーを得るために、給湯能力12号以上をおすすめします。
- 自動お湯はりなど一時止水機構を持った給湯設備を水栓の湯側配管に接続して使用した場合、自動お湯はりが終わっても水が若干出る事があります。これは、水栓の破損防止機構が働いているためです。このような場合は水栓のハンドル側で水を止めてください。

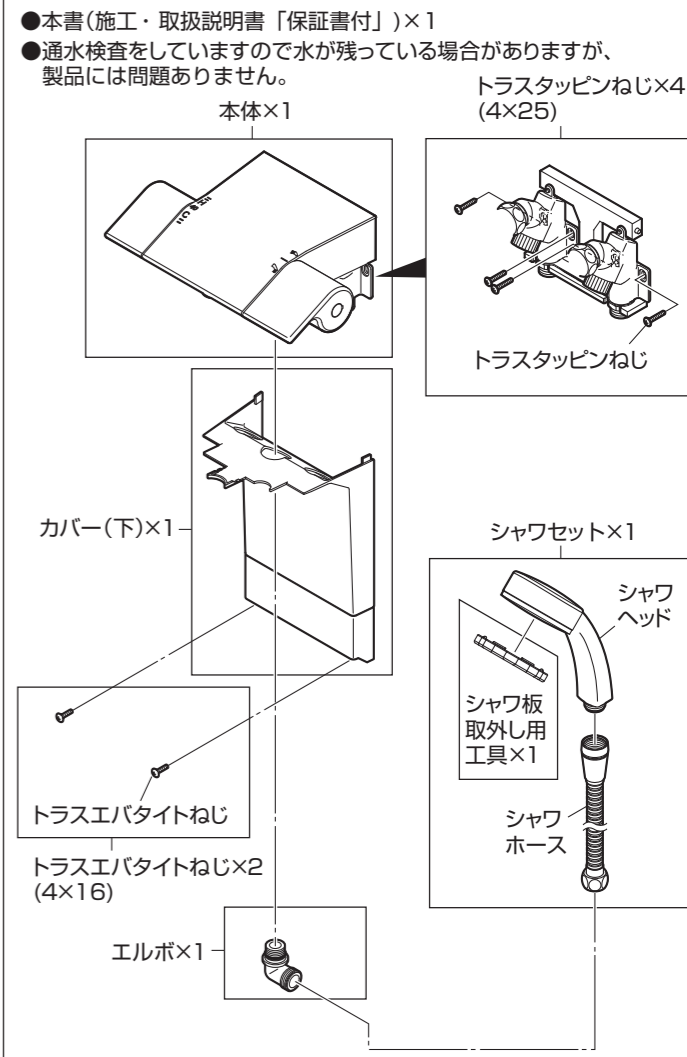
(水質・用途について)

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	一般住宅用

### 施工について 施工前のご注意

- 給水は、上水道に接続してください。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。

### 施工について 梱包明細



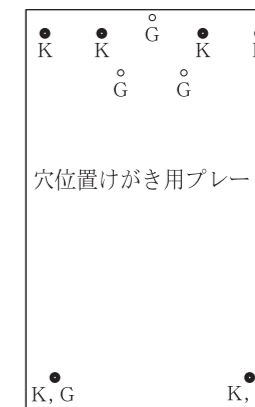
### 施工について 施工手順

**主な工具類**

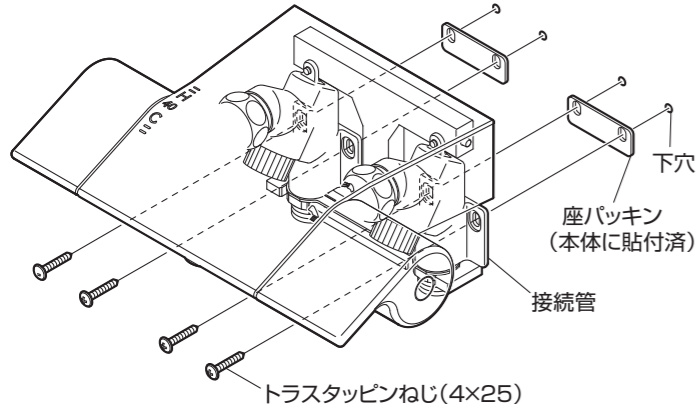
- 手袋: ケガ防止のために着用してください。
- タオルなど: ケガ防止や水栓保護のために使用します。
- 元栓がキー式の場合に必要な工具: 止水栓キー (SAN-EI品番: PR30A(止水栓キー))
- 水栓本体を取付ける場合に必要な工具: プラスドライバー, 電動ドリル

#### 1 壁パネル取付穴位置に穴をあけます。

システムバスの設置説明書にしたがって、壁パネル取付穴位置(参照:「各部の名称・寸法図」)に穴をあけてください。なお、穴位置けがき用プレート(システムバス同梱)を使用する場合は、けがき用プレートに「K」と記載された穴を選択して、穴位置けがいてください。



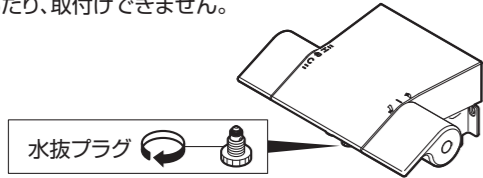
2 水栓本体を取付けます。  
接続管を壁の下穴に合わせトラスタッピンねじ(4×25)で固定します。



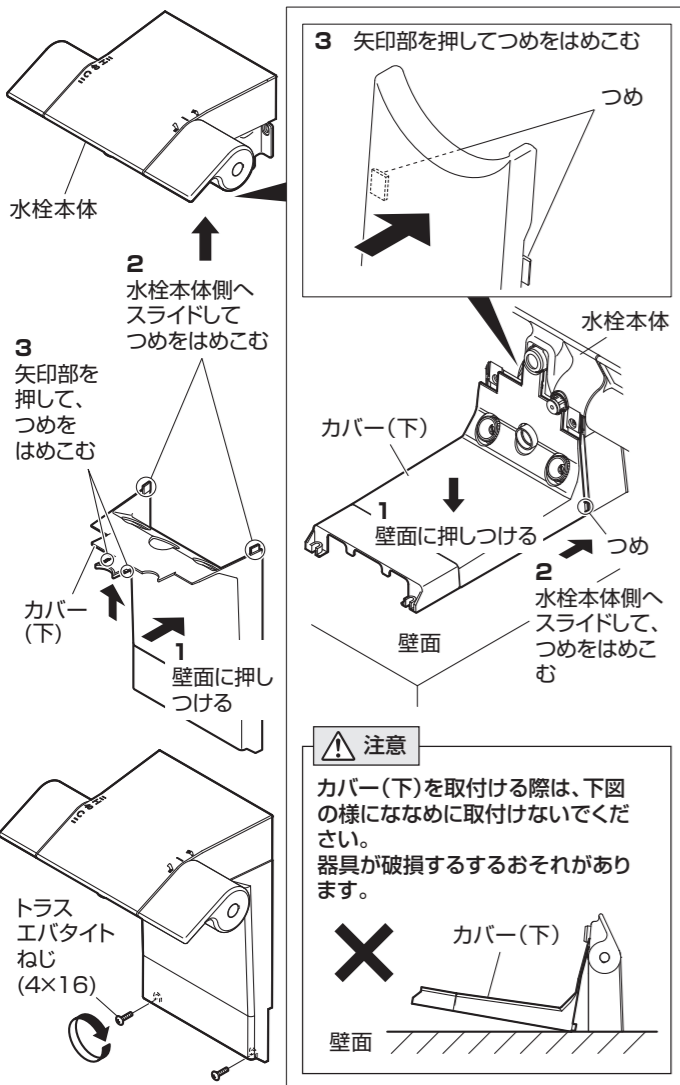
3 配管を接続します。  
システムバス の施工説明書を参照してください。

4 水栓本体にカバー(下)を取付けます。

(1) カバー(下)を取付ける前に、水抜プラグを取りはずします。  
水抜プラグが付いたままだと、水抜プラグがカバー(下)にあたり、取付けできません。

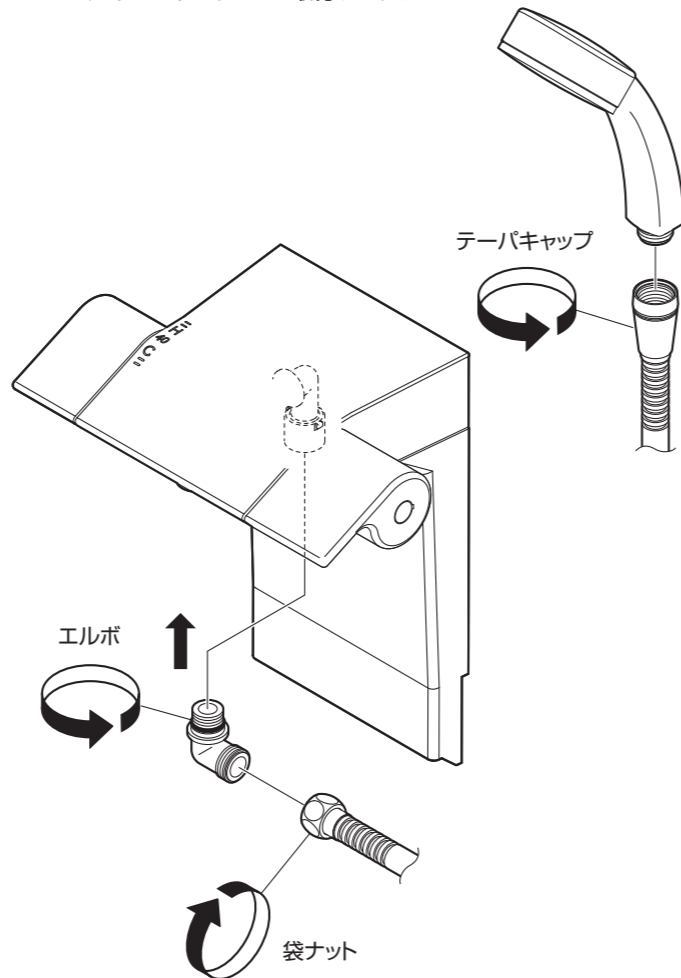


(2) カバー(下)を壁面に押しつけ、上にスライドさせてトラスエバタイトねじ(4×16)で固定します。



(3) カバー(下)を取付け後、水抜プラグを取付けます。

5 エルボ・シャワホースを取付けます。

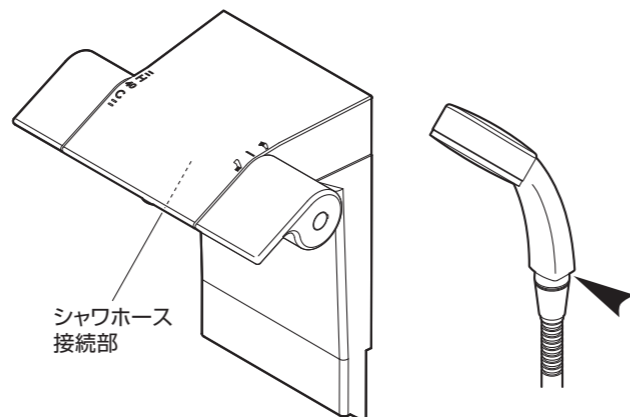


**注意**

- シャワヘッド・テーパキャップ・袋ナットは手でまっすぐにねじ込んでください。  
工具を使用したり、斜めにねじ込むとネジ山が潰れ、接続できない場合があります。
- 袋ナットにパッキンが入っていることを確認してください。
- ホースにパッキンが入っている方を、本体に取付けてください。

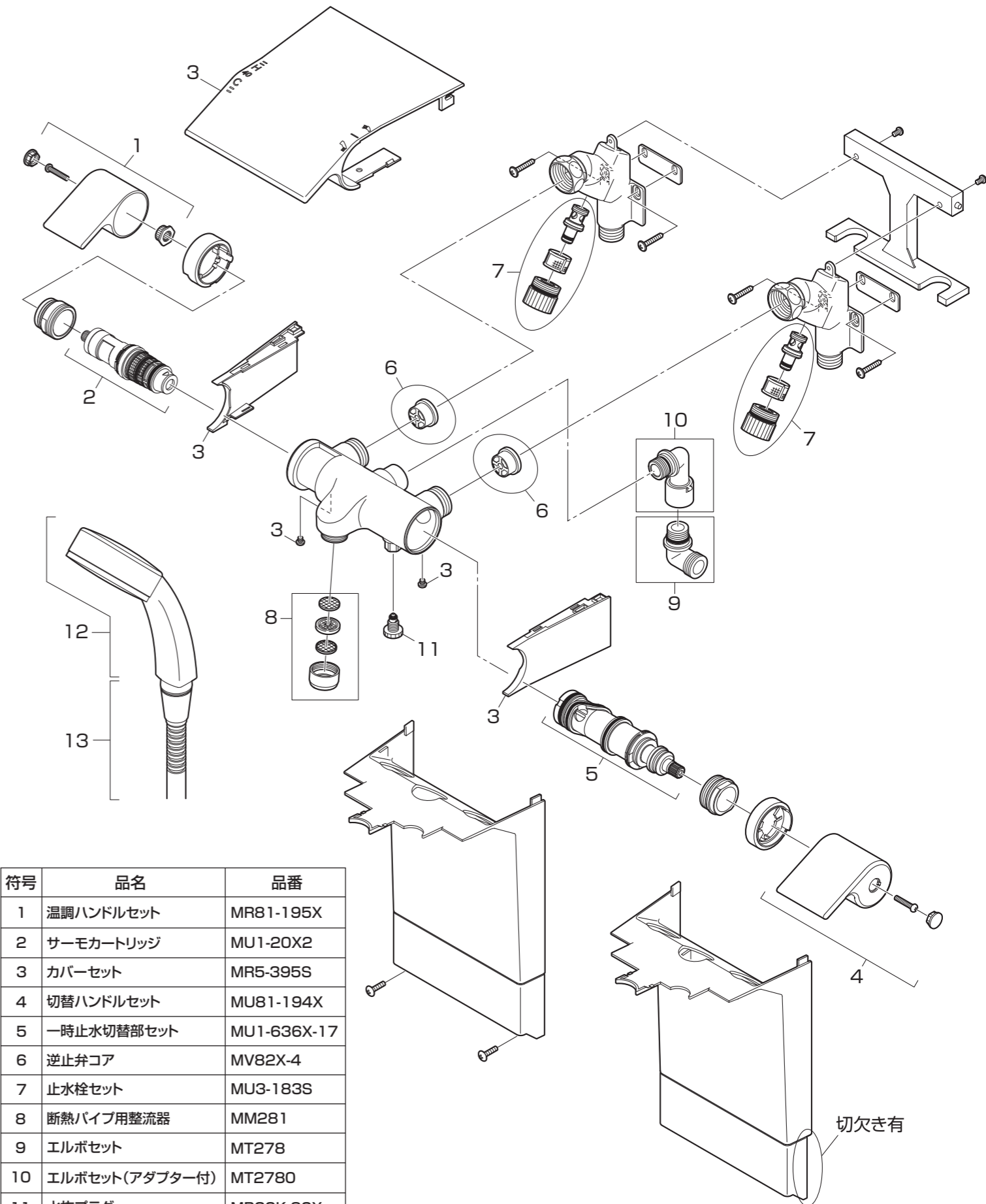
6 元栓を開いて水漏れをチェックします。

接続後、各部に水漏れがないか必ず確認してください。  
水漏れがある場合は、もう一度はじめからやり直してください。



**こんなときは 本製品の構造**

本製品の構造を表したイラストです。  
構造をご理解いただくのにご使用ください。



符号	品名	品番
1	温調ハンドルセット	MR81-195X
2	サーモカートリッジ	MU1-20X2
3	カバーセット	MR5-395S
4	切替ハンドルセット	MU81-194X
5	一時止水切替部セット	MU1-636X-17
6	逆止弁コア	MV82X-4
7	止水栓セット	MU3-183S
8	断熱パイプ用整流器	MM281
9	エルボセット	MT278
10	エルボセット(アダプター付)	MT2780
11	水抜プラグ	MB20K-89X
12	シャワーヘッド	MS3950-82X
13	シャワーホース	MS30-56TX

\*品番は予告無く変更する場合がありますので、予めご了承ください。

株式会社 三栄水栓製作所

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

TEL 大阪 (06)6976-8661

TEL 東京 (03)3683-7496

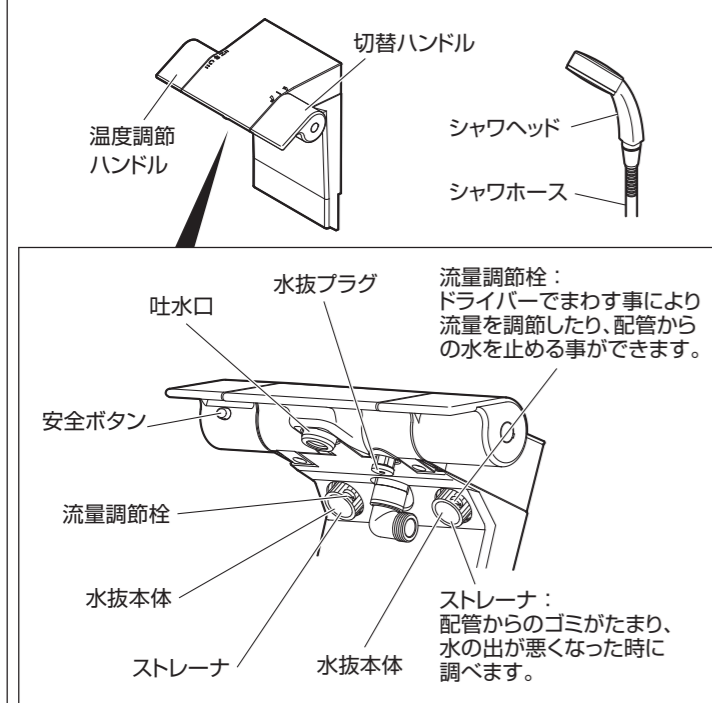
サーモシャワー混合栓  
.....SB180-5U-TB・SB180-5U1-TB

取扱説明書

- ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
- 保証書にお買上げ（お取付け）年月日、販売店（工事店）名の記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

本製品について 各部の名称

●本製品は、サーモスタットの働きで混合水の温度を一定に保つ混合栓です。



凍結のおそれがある場合に水抜部をまわして水栓内部の水を抜きます。

ご使用について ご使用に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**警告**

小さいお子様だけのご使用は、避けてください。やけど・けがをするおそれがあります。

**注意**

- 使い始めの水がにおう場合は、しばらく流してからお使いください。しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、におうことがあります。
- 製品に強い力や衝撃を与えたり、重いものを下げたりしないでください。故障や漏水の原因になります。
- ストレーナの掃除をする際は、いきなりストレーナを緩めず、流量調節栓を開けてから行ってください。湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を確実に実施してください。凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

**注意**

- 左側の流量調節栓には直接肌を触れないでください。給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。
- 高温の湯をお使いのときは、吐水口に直接肌を触れないでください。吐水口は高温になっているのでやけどをするおそれがあります。

(給湯器の設定温度について)  
給湯温度は最高85℃までお使いください。85℃以上でご使用になると器具の寿命が短くなります。なお、誤操作などによるやけど防止のため、50～60℃給湯をおすすめします。

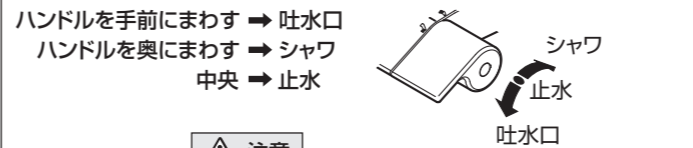
- シャワーには高温の湯（60℃以上）を通さないでください。給湯温度が60℃以上の場合、吐水温度が60℃以下になるように調節してください。シャワーヘッドが破損して、やけどをするおそれがあります。安全のため、適温でご使用をおすすめします。
- 湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。
- 温度調節ハンドルの温度位置を確かめて吐水してください。高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
- 切替ハンドルは、ゆっくり回してください。切替ハンドルを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 高温の湯をお使いの後は必ず温度を40℃以下に戻してください。次に使用する際、いきなり高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
- 温度調節ハンドルは、ゆっくり回してください。温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇し、やけどをするおそれがあります。
- 凍結した場合は温度調節ハンドルの目盛り"40"と吐水温度があっているか確認してください。凍結すると本体内の部品が破損し、設定温度がずれてやけどをするおそれがあります。
- 解氷機やアースを水栓に通電しないでください。水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温であることを確かめてください。高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
- お使いになる前に、吐水口側かシャワー側かを切替ハンドルで確認してから湯をお使いください。間違えると、やけどをするおそれがあります。

(樹脂メッキ付部品の場合)  
樹脂メッキ部品には、下記のことを行わないでください。  
●鋭利な物を当てる ●衝撃を与える ●落とす  
メッキの表面が割れ、ケガをするおそれがあります。万が一メッキの表面が割れた場合は、早めに新しい部品に交換してください。

【樹脂メッキ部品の例】  
・シャワーヘッド  
・ハンドル、レバー  
・シャワー掛具  
・整流器 など

- シャワーホースやシャワーヘッドを洗面器などに浸けたまま放置しないでください。汚水が器具に逆流するおそれがあります。
- シャワー板の目詰まりにより、散水不良が発生してきた場合は、器具の破損につながります。部品のお取替えも検討して頂くをお願いします。
- 長期間使用しない時は、流量調節栓または配管中の元栓を閉めてください。水漏れなどの事故の原因になります。
- 凍結が予想される際は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 水抜部は水抜き以外の目的で開けないでください。水抜部をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ご使用について 吐水・止水とシャワー側への切替え



**注意**

- 切替ハンドルは全開でご使用ください。
- 流量を調節する場合は、流量調節栓で調節してください。

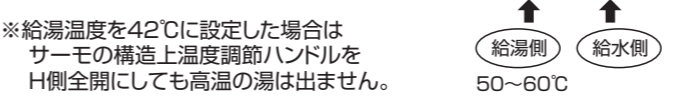
**注意**

止水後、シャワーヘッドから水滴がしばらく落ちる事があります。これはシャワーヘッド内の残留水であり、一定時間だけの現象であれば異常ではありません。水滴が落ちる要因は、落ちる位置によって異なります。下表を参照し、それぞれの現象に合った対処を行ってください。

水滴の落ちる位置	考えられる要因	対処
	使用後の水がシャワー散水板の表面張力により滞留しています。振動や浴室ドアの開閉による気圧の変化などにより表面張力が弱くなり、ポタポタと流れ出ることがあります。	シャワーヘッドをよく振る
	シャワーヘッドを浴槽や洗面器に浸けるなどすると、シャワーヘッドの隙間から水が浸入することがあります。この水が外装部の隙間から流れ出ることがあります。	シャワーヘッドをよく振る

ご使用について 温度調節

●給湯機（給湯リモコンなど）の給湯温度は、誤操作などによるやけど防止のため、50～60℃設定をおすすめします。給湯機の設定温度が優先されるため、設定温度が低いとサーモ機能が正常に作動しないおそれがあります。



**温度調節**

ラインを目盛に合わせる。数字は温度の目安としてご使用ください。

ハンドルを手前にまわす → 温度が下がる  
ハンドルを奥にまわす → 温度が上がる

**高温の使用**

安全ボタンを押してまわす。

安全ボタン解除

**注意**

- 安全ボタンを押さずに回すと器具を破損するおそれがあります。
- 高温の湯を使用した後は必ず、温度調節ハンドルを40以下に戻してしばらく水を流してください。

※安全ボタンを押して温調ハンドルをまわしても高温の湯が出ないときは、給湯機（給湯リモコンなど）の給湯温度を50～60℃に設定した後、水栓側の温度調節ハンドルをH側へまわしてください。

給湯 42℃ → 給湯 60℃

運転入/切 自動 優先

着火

ご使用について（ご使用前に） 温度調節ハンドルの設定

温度調節部は工場出荷前に調整済ですが、取付現場の圧力、給湯温度などの条件により目盛と異なる温度の混合水が出る事があります。このような場合は下記の設定を行ってください。

- 1 給湯機の給湯温度を設定します。給湯温度の設定については「温度調節」を参照してください。
- 2 温度調節ハンドルの目盛と関係なく吐水温度が適温（およそ40℃）になるようにまわします。
- 3 吐水温度が適温（およそ40℃）になる位置で温度調節ハンドルをはずします。
- 4 目盛の40の文字とラインを合わせて、温度調節ハンドルを取付けます。

(注) ●温度調節ハンドルを取付ける時、栓棒をまわさないようにしてください。  
●目盛・数字とも目安としてご使用ください。  
●温度調節ハンドル取付け後、温度調節ハンドルを水側へ全開にまわし、給湯機が着火しないことを確認してください。着火する場合は、吐水温度を下げて再度、温度調節ハンドルを取付けてください。  
●キャップを取りはずす際は、工具などで製品に傷がつかないように注意してください。（例：細い工具などにテープを巻いて取りはずす。）  
●部品をなくさないように注意してください。

ご使用について 流量調節

ドライバーでまわす事により流量を調節したり、配管からの水を止める事ができます。

**注意**

水抜本体がまわらないように、水抜本体をもって流量調節栓をまわしてください。水抜本体がはずれると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

流量が少なくなる 流量が多くなる

おさえる 流量調節栓 水抜本体 マイナスドライバーなど

ご使用について 凍結予防

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 水栓より少量の水を出してください。（目安として1分間に牛乳ビン1本程度）
- 配管部などに保温材を巻いてください。
- 屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。

※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。

窓を閉めるなど 少量の水を出すなど

ご使用について 水抜き方法

本製品は寒冷地において配管中の水を抜く設備（水抜栓）とあわせて使用する製品です。凍結のおそれがある場合は、下記の方法で水抜きをしてください。

- 1 元栓を閉め、配管の水抜栓を開けます。
- 2 切替ハンドルを吐水口側へまわします。
- 3 水抜プラグ・水抜本体をすべてゆるめます。
- 4 温度調節ハンドルをH側へまわして水を抜き、さらにC側へまわして水を抜きます。（数回まわす）
- 5 切替ハンドルをシャワー側へまわします。
- 6 シャワーヘッドを器具より下にさげ、シャワーヘッドとホースを振って水を抜き、床に置きます。

(再使用时)  
●すべての水抜プラグ・水抜本体が確実に閉まっているか確認してください。  
●切替ハンドルを止水位置にして配管の水抜栓を閉め、元栓を開けます。  
●水抜きをしてもストレーナの網に付着した水滴が凍り、吐水しない場合があります。その場合は、ぬるま湯をかけて温めてください。

**注意**  
水抜部は高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。ご注意ください。

## 日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

### ⚠️ 注意

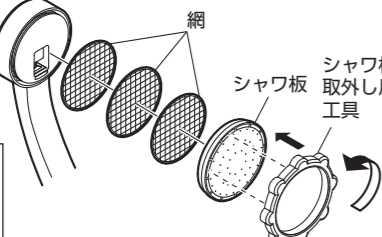
次のものは使用しないでください。  
変色や傷みのおそれがあります。

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類  
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわし・メラミンフォームなど

洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。  
本体の割れや変色変質の原因となります。

## 日頃のお手入れ シャワヘッドの掃除

シャワ板をはずし、穴・網の掃除ができます。はずす際は、シャワ板取外し用工具をシャワ板に押しつけ左に少しゆるめてはずします。



**⚠️ 注意**

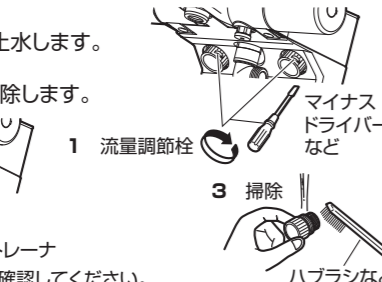
シャワ板を取付ける際は、オーリングの傷、ゴミかみに注意してください。

## 日頃のお手入れ ストレーナ・吐水口の掃除

ストレーナ・吐水口の汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できない場合があります。快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。(近所で水道工事があったり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

### ■ ストレーナの掃除

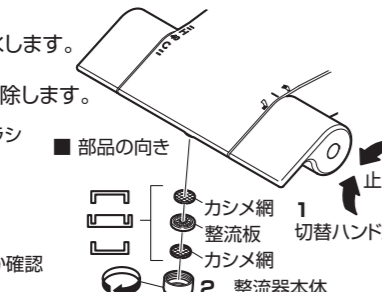
- 1 流量調節栓を右にまわし、止水します。
- 2 ストレーナをはずします。
- 3 ハブラシなどで網部分を掃除します。



**再使用時**  
ストレーナが確実に閉まっているか確認してください。

### ■ 吐水口の掃除

- 1 切替ハンドルをまわし、止水します。
- 2 整流器本体をはずします。
- 3 ハブラシなどで網部分を掃除します。

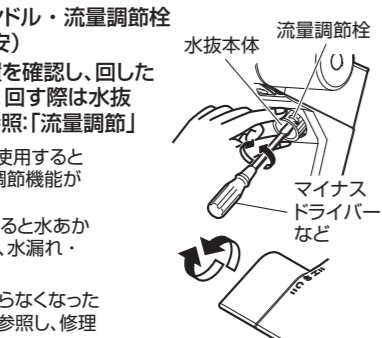


**再使用時**  
整流器本体が確実に閉まっているか確認してください。

## 定期的な点検 可動部分の点検

可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので、「保証とアフターサービス」を参照し、修理をご依頼ください。温度調節ハンドル・流量調節栓の点検については下記を参照ください。

日頃から、ときどき温度調節ハンドル・流量調節栓を回してください。(月1回を目安) 流量調節栓を回す際は設定位置を確認し、回した後に元の位置に戻してください。回す際は水抜本体をもって回してください。参照:「流量調節」




温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれるおそれがあります。流量調節栓を長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、水漏れ・異音の発生の原因になります。温度調節ハンドル・流量調節栓が回らなくなった場合は「保証とアフターサービス」を参照し、修理をご依頼ください。

## 定期的な点検 配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。(年2回を目安) 定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。(年2回を目安) 劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがを、したり水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

漏水を確認した場合は、流量調節栓または配管中の元栓を閉めてください。

修理の依頼をされる場合は「保証とアフターサービス」を参照してください。

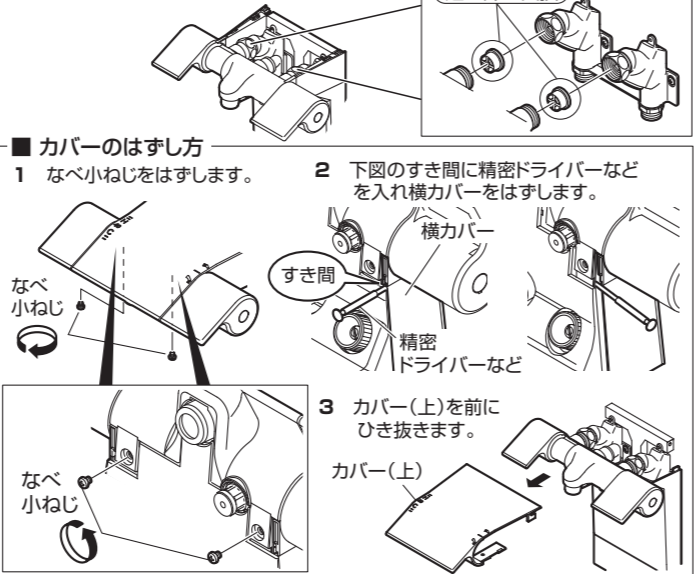


## 定期的な部品交換 逆止弁の交換時期

逆止弁の交換時期の目安：3～5年 万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐出した水が逆流するおそれがあります。

### ■ カバーのはずし方

- 1 なべ小ねじをはずします。
- 2 下図のすき間に精密ドライバーなどを入れ横カバーをはずします。
- 3 カバー(上)を前にひき抜きます。



※交換時期は、使用環境などにより異なります。 ※逆止弁の交換を依頼される場合は「保証とアフターサービス」を参照してください。

## こんなときは 故障? その前に

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

現象	点検項目	処置
流量が少ない	流量調節栓は開いていますか。 ゴミづまりはありませんか。	流量調節栓で流量を調節する。 ストレーナ・吐水口の掃除をする。
高温しかでない	水側の流量調節栓は開いていますか。	流量調節栓で流量を調節する。
低温しかでない	給湯機から湯がきていますか。 湯側の流量調節栓は開いていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。 流量調節栓で流量を調節する。
温度調節がうまくできない	湯側・水側の流量調節栓は開いていますか。 給湯機から湯がきていますか。 ゴミづまりはありませんか。	流量調節栓で流量を調節する。 給湯機の設定温度・作動を確認する。
水はねが気になる	温度調節ハンドルの設定は合っていますか。	温度調節ハンドルの設定を確認する。
		流量調節栓で流量を調節する。

以上の点検を実施されても、不具合がなくなる場合はお手数ですがお買い上げの販売店(工事店)に修理をご依頼ください。

●修理される方は次の表に従って点検してください。

現象	点検項目
各接合部及びハンドル部から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。各接合部からの水漏れの場合は、水漏れ箇所を交換してください。 ハンドルからの水漏れの場合は、一時止水切替ユニット及びサーモカートリッジを交換してください。
止水しても吐水口から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。一時止水切替ユニットを交換してください。
シャワホースから水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化のおそれがあります。シャワホースを交換してください。

## 漏水した場合の処置

漏水した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。


### 元栓の閉め方

元栓ボックス(メーターボックス)のふたを開け、元栓を右にまわして閉めます。 ※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。  
※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。  
※一部の地域では左まわしの場合があります。  
※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

■戸建て住宅などの元栓ボックス：  
主に玄関やガレージ付近の地面にあります。古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあったりします。


●キー式

止水栓キー  
SAN-EI品番：  
PR30A(止水栓キー)

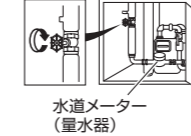


●ハンドル式

水道メーター(量水器)



■マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス：  
主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。



## 保証とアフターサービス

〔保証について〕

- この製品は保証書の内容にしたがって保証されています。お買い上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定にしたがって、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

〔水栓の定期的な点検・部品交換について〕

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め(3～5年)の点検・交換をおすすめします。(交換時期は、使用環境などにより異なります。)

### 定期点検・部品交換

使用年数

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

お客様による日常のお手入れ・点検

摩耗劣化部品の交換

買替え  
ご検討

方法については、「日頃のお手入れ」・「定期的な点検」を参照してください。

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。  
摩耗劣化部品の例：シングルカートリッジ(バルブ開閉ユニット)・逆止弁(逆流防止弁)・レバー(ハンドル)・網(ストレーナ)・パッキン・オーリングなど

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。部品の詳細については「本製品の構造」を参照してください。

〔補修用性能部品の供給期間〕


この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

- 修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店(工事店)又は当社
- 連絡していただきたい内容：
  - 住所、氏名、電話番号
  - 品番、品名
  - お買い上げ(お取付け)年月日
  - 故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、部品交換の依頼
  - 訪問希望日

品番を確認するには水栓の右側面に貼付のシールをご確認ください。

(例) 品番 SB180-5U-TB  
製造番号 20131011G



●当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。  
「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。  
「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)  
「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

●まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。ご不明な場合は最寄りの当社営業所へお問合せください。

## 水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店(工事店)にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。お買い上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認ください、記入のない場合はお買い上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。		
保証期間	対象部品	期間 (お買い上げ日/お取付け日から)	
	本体	2カ年	
お買い上げ日(お取付け日)	年 月 日		
お客様	お名前	様	
	ご住所		
	電話	( )	
販売店 工事店	店名	住所	
	電話	( )	

### ＜無料修理規定＞

ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

1. 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
2. ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店(工事店)に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - (1) 使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
  - (2) 温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
  - (3) お買い上げ(お取付け)後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
  - (4) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
  - (5) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及び外部ノイズなどに起因する不具合
  - (6) 消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
  - (7) 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
4. 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
  - (9) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
  - (10) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
  - (11) 砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
  - (12) 寒冷地仕様製の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の凍結による故障及び損傷
  - (13) 本書の提示がない場合
  - (14) 本書にお買い上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名の記載がない場合

★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買い上げの販売店(工事店)、または当社にお問合せください。

★補修用性能部品の保有期間についてご不明の場合は当社お客様相談室へお問合せください。

## SAN-EI

株式会社 三栄水栓製作所

本社 〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

お客様相談室 大阪 ☎(06)6976-8661  
東京 ☎(03)3683-7496

フリーダイヤル ☎ 0120-06-9721

- 東京支店 …… ☎ (03)3683-7471
- 名古屋支店 …… ☎ (052)800-8688
- 大阪支店 …… ☎ (06)6972-6981
- 札幌営業所 …… ☎ (011)782-5353
- 盛岡営業所 …… ☎ (019)605-7301
- 仙台営業所 …… ☎ (022)258-6251
- 郡山営業所 …… ☎ (024)931-1377
- 新潟営業所 …… ☎ (025)281-1291
- 東京西営業所 …… ☎ (042)582-7141
- さいたま営業所 …… ☎ (048)625-4741
- 横浜営業所 …… ☎ (045)929-0331
- 静岡営業所 …… ☎ (054)236-1115
- 金沢営業所 …… ☎ (076)268-7751
- 京都営業所 …… ☎ (075)605-5761
- 神戸営業所 …… ☎ (078)843-9231
- 広島営業所 …… ☎ (082)922-3631
- 松山営業所 …… ☎ (089)905-7866
- 福岡営業所 …… ☎ (092)674-1230
- 熊本営業所 …… ☎ (096)385-7161
- 沖縄営業所 …… ☎ (098)869-0890

ホームページ <http://www.san-ei-web.co.jp>